無線アダプタ マニュアル らくらく！セットアップシート

このたびは、本製品をご利用いただき、誠にありがとうございます。本製品を正しく使用するために、はじめにこのマニュアルをお読みください。お読みになった後は、大切に保管してください。

セットアップをおこなう前に

・Windows 2000/98SEをお使いの場合は、パソコンにInternet Explorer5.5以降がインストールされている必要があります。
・本製品のパッケージ内容は、外箱に記載されています。
・本製品の製品仕様およびランプ仕様は、エアナビゲータCD内の「AirStation設定ガイド」に記載されています。詳しくは、本紙「補足情報」(P.2)の「製品仕様・ランプ仕様を確認する」を参照してください。
・本製品に同梱されているユーザー登録はがきは、保証書を切り離した後、必要事項をご記入の上、必ず弊社までご返送ください。また、切り離した保証書は大切に保管してください。
・追加情報が別紙で添付されている場合は、必ず参照してください。
・最新の製品情報や対応機種については、カタログまたはインターネットホームページ(buffalo.jp)を参照してください。

セットアップしよう

無線アダプタ（子機）をパソコンに取り付けてドライバおよびユーティリティをインストールします。

まだ取り付けないでください

無線アダプタ(子機)は、画面に取り付け指示が表示されてから、取り付けてください。
先に取り付けると、「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されます。その場合は、[キャンセル]をクリックして、無線アダプタ(子機)を取り外してください。

1 パソコンを起動します。

2 添付のCD-ROM（エアナビゲータCD）をパソコンにセットします。
しばらくすると、エアナビゲータが起動します。

3

「かんたんスタート」をクリックします。

4

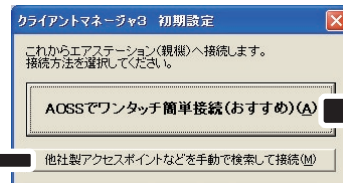
「AirStation無線アダプタ(子機)」をクリックします。

5 「インストール開始」をクリックします。

6 画面にしたがって、インストールをおこなってください。

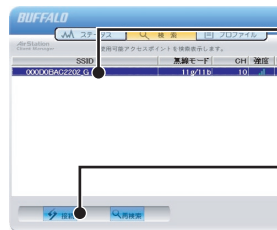
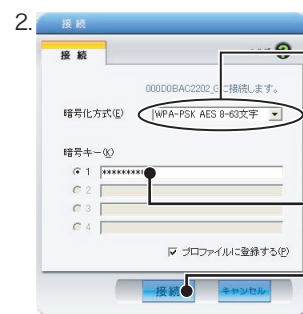
右上へつづく

7 しばらくセットアップを続けると、下の画面が表示されます。

クライアントマネージャ3 初期設定
これからエアステーション(親機)へ接続します。
接続方法を選択してください。
AOSSでワンタッチ簡単接続(おすすめ)(A)
他社製アクセスポイントなどを手動で検索して接続(M)

●AOSS™対応のAirStation(親機)と自動接続する場合
「AOSSでワンタッチ簡単接続(おすすめ)」をクリックした後、画面にしたがってAirStation(親機)のAOSSボタンを約３秒間押し続けてください。
⇒AOSSの手順やAOSSボタンについては、お使いのAirStationのマニュアルを参照してください。

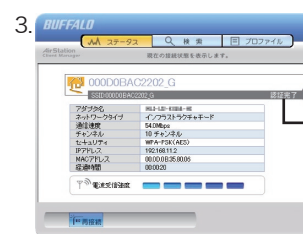
画面にしたがって、セットアップを続けてください。インターネットに接続できたら、設定完了です。

●アクセスポイントを手動で検索して接続する場合
「他社製アクセスポイントなどを手動で検索して接続」をクリックした後、アクセスポイントに接続してください。
⇒詳細な手順は、下記を参照してください。

1.AirStation(親機)または他社製アクセスポイントが検索されます。

①SSID(ネットワーク名)を選択します。
②[接続]をクリックします。

2.

①無線の暗号化方式を選択します。
選択できる暗号化方式は、製品によって異なります。
②暗号化キーを入力します。
③[接続]をクリックします。

・この接続をプロファイルに登録する場合は、「プロファイルに登録する」のチェックマークをつけて、[接続]をクリックします。
・暗号化方式が「WEP」の場合は、通常、「１」の欄に暗号化キーを入力します。

3.

[×]をクリックして、画面を閉じます。
「認証完了」と表示されます。
※暗号がWEPまたは暗号化なしの場合は、「接続」と表示されます。

※親機との距離が近すぎるとスループットが落ちる場合があります。通信時は、親機と30cm以上離してお使いください。

画面にしたがって、セットアップを続けてください。インターネットに接続できたら、設定完了です。

次ページへつづく

■本書に記載された仕様、デザイン、その他の内容については、改良のため予告なしに変更される場合があり、現に購入された製品とは一部異なることがあります。
■本書の内容に関しては万全を期して作成していますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどがありましたら、お買い求めになった販売店または弊社サポートセンターまでご連絡ください。
■本製品は一般的なオフィスや家庭のOA機器としてお使いください。万一、一般OA機器以外として使用されたことにより損害が発生した場合、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
・医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。
・一般OA機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用するときはご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を万全におこなってください。
■本製品は、日本国内でのみ使用されることを前提に設計、製造されています。日本国外では使用しないでください。また、弊社は、本製品に関して日本国外での保守または技術サポートを行っておりません。
■本製品のうち、外国為替および外国貿易法の規定により戦略物資等（または役務）に該当するものについては、日本国外への輸出に際して、日本国政府の輸出許可（または役務取引許可）が必要です。
■本製品の使用に際しては、本書に記載した使用方法に沿ってご使用ください。特に、注意事項として記載された取扱方法に違反する使用はお止めください。
■弊社は、製品の故障に関して一定の条件下で修理を保証しますが、記憶されたデータが消失・破損した場合については、保証しておりません。本製品がハードディスク等の記憶装置の場合または記憶装置に接続して使用するものである場合は、本書に記載された注意事項を遵守してください。また、必要なデータはバックアップを作成してください。お客様が、本書の注意事項に違反し、またはバックアップの作成を怠ったために、データを消失・破棄に伴う損害が発生した場合であっても、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
■本製品に起因する債務不履行または不法行為に基づく損害賠償責任は、弊社に故意または重大な過失があった場合を除き、本製品の購入代金と同額を上限と致します。
■本製品に隠れた瑕疵があった場合、無償にて当該瑕疵を修補し、または瑕疵のない同一製品または同等品に交換致しますが、当該瑕疵に基づく損害賠償の責に任じません。

■電波に関する注意

● 本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、技術基準適合証明を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。また、本製品は、日本国内でのみ使用できます。
● 本製品は、技術基準適合証明を受けていますので、以下の事項をおこなうと法律で罰せられることがあります。
・本製品を分解／改造すること
・本製品の裏面に貼ってある証明ラベルをはがすこと
● IEEE802.11a対応製品は、電波法により屋外での使用が禁じられています。
● IEEE802.11b/g対応製品は、次の場所で使用しないでください。
電子レンジ付近の磁場、静電気、電波障害が発生するところ、2.4GHz付近の電波を使用しているものの近く（環境により電波が届かない場合があります。）
● IEEE802.11b/g対応製品の無線チャンネルは、以下の機器や無線局と同じ周波数帯を使用します。
・産業・科学・医療用機器
・工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の無線局
①構内無線局（免許を要する無線局）②特定小電力無線局（免許を要しない無線局）

● IEEE802.11b/g対応製品を使用する場合、上記の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。
1 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
2 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合は、速やかに本製品の使用周波数を変更して、電波干渉をしないようにしてください。
3 その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社サポートセンターへお問い合わせください。

使用周波数帯域	2.4GHz
変調方式	DS-SS方式/OFDM方式 (IEEE802.11b/g対応製品) DS-SS方式 (IEEE802.11b対応製品)
想定干渉距離	40m以下
周波数変更の可否	全帯域を使用し、かつ「構内無線局」「特定小電力無線局」帯域を回避可能

お問い合わせ・修理窓口・備品販売窓口

お問い合わせ・修理窓口・添付品の販売については、以下の順にてご確認いただきますようお願い致します。
マニュアル（印刷物、添付 CD 等）の設定内容・困ったときは（Q&A）をご確認ください。

弊社ホームページにて**最新 Q&A 情報、最新ドライバ・ファームウェア**をご確認ください。
サポート情報 **86886.jp**（ハローバッファロー）（http://www 不要）

上記で改善しない場合は、**バッファローサポートセンター**へお問い合わせください。
お問い合わせの際は、以下「必要な情報」③〜⑦をあらかじめご確認ください。

インターネット(E メール)でのお問い合わせ先
Webサポート 86886.jp/mail/（http://www不要）
※左記 URL から画面に従って進み、表示されるお問合せフォームより質問をお送りください。

電話でのお問い合わせ先 ※電話番号はお掛け間違いのないようにご注意ください。
東京第1センター **03−5781−7435** 月〜土 9:30〜19:00
東京第2センター **03−5365−3102** 日〜土 9:30〜19:00
IP電話*1 **050−3101−0070** 月〜土 9:30〜19:00
名古屋 **052−619−1825** 月〜金（祝日除く）9:30〜17:00
*1 NTT 固定電話からは全国一律 11.34 円 /3 分で利用可能。（注）営業日は、上記のほか年末年始、法定点検日など休業する場合があります。

手紙でのお問い合わせ先
〒457-8570 名古屋市南区豊田 3-3-5 （株)バッファロー サポートセンター宛

修理は以下の**バッファロー修理センター**までご依頼ください。※修理品送付の前に弊社への連絡は不要です。
保証書について 修理送付前に本製品添付の保証書記載の保証契約約款をよくお読み下さい。
修理 web 予約 弊社ホームページより修理の web 予約、受付けた修理品の状況確認が可能です。
86886.jp/shuri/（http://www 不要）
送付先住所 〒457−8570 愛知県名古屋市南区豊田 3−3−5
株式会社バッファロー修理センター受付宛
電話番号 **052−698−7330** ※ご依頼の修理品に関するお問合せのみ承っております。
月〜金（祝日を除く） 9:30〜12:00 13:00〜17:00
送付いただく物 本製品、本製品付属品、保証書（原本）、修理依頼票（*）
* 修理依頼票は弊社ホームページよりダウンロード可能です。修理依頼票を添付できない場合は、以下「必要な情報」を記載した資料を製品と一緒にお送りください。

【注意事項】
※発送は宅配便等控えが残る方法にてお送りください。控えが残らない郵送は固くお断りします。
※修理依頼時の送料は、送り主様の負担とさせていただきます。なお、輸送中の事故においては、弊社は責任を負いかねます。輸送会社に保証していただくなどの措置をお取りください。
※ハードディスク、フラッシュメモリ等の記憶装置内のデータは保証できませんので、修理に送付される前に予めお客様にてバックアップをとっていただきますようお願いします。
※AirStation、BroadStation、LinkStation、TeraStation は、修理の際に出荷時の状態に戻す為、設定内容(接続ユーザ名 / パスワード / 無線暗号キー(WEP)等)を消去しますので、ご送付前に必ず設定内容を控えてください。
※修理期間は、製品の到着後 10 日程度（弊社営業日数）を予定しております。
※修理させていただいた製品の保証期間は、元の保証期間の終了日又は、修理完了日より 3 ヶ月間のいずれか長い方となります。

製品の添付品販売(一部)、ダウンロード(ドライバ・ファームウェアなど)の代行サービス(有料)は下記のページをご覧ください。
添付品の販売(備品販売窓口)ページ **86886.jp/bihin/**（http://www 不要）

ユーザ登録はこちらのページ **86886.jp/user/**（http://www 不要)より登録いただけます。

必要な情報
①返送先（氏名・住所・電話番号（内線）・FAX番号）
②平日昼間の連絡先
（氏名・住所・電話番号（内線）・FAX番号）
③バッファロー製品名
④バッファロー製品のシリアルナンバー
⑤具体的な症状／エラーメッセージ
⑥発生状況（初めから・ある日突然等）、
発生頻度（必ず、時々、時間が経つと等）
⑦ご使用環境（パソコン機種名、OS（Windows XP等）、周辺機器）
⑧製品以外の添付品（ACアダプタ、ケーブルなど）

※受付時間や電話番号などは、変更されることがあります。最新の内容は、弊社ホームページでご確認ください。
※This product supports only Japanese language.
Technical and customer support is limited to Japan only.
This product supports Japanese language Operating Systems ONLY.

弊社へご提供の個人情報は次の目的のみに使用し、お客様の同意なく第三者への開示は致しません。
・お問合せに関する連絡・製品向上の為のアンケート（サポートセンター）・添付品の販売業務（備品販売窓口）
・製品返送/詳細症状の確認/見積確認/品質向上の為の返送後の動作状況確認（修理センター）

らくらく！セットアップシート
2006年 10月18日 第3版発行 発行 株式会社バッファロー

困ったときは

AirStation設定ガイド※1の「困ったときは」を参照してください

画面・イラストを使ったわかりやすい解決策が記載してあります。

●無線アダプタ(子機)のドライバがインストールできない場合(ランプが点灯・点滅しない)

⇒無線アダプタ(子機)を下記の手順で再インストールしてください。

1.添付のCD-ROM(エアナビゲータCD)をパソコンにセットします。
2.[オプション]→[ドライバの削除]より、無線アダプタ(子機)のドライバをいったん削除します。
3.本紙「セットアップしよう」の手順②(P.1)から再度インストールをおこなってください。

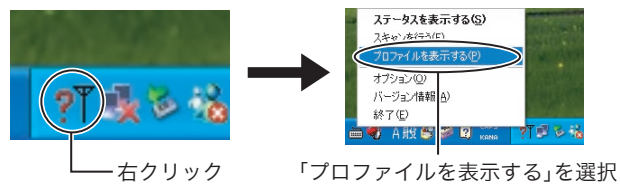
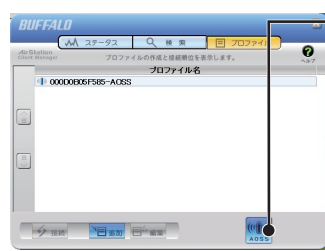
●AOSSでAirStation(親機)と接続できない場合

⇒AOSSで接続できないときは、AirStation(親機)と無線アダプタ(子機)を近づけてから、再度AOSSで接続してください。
詳細な手順は、「AirStation設定ガイド※1」の中の「困ったときは(カテゴリ別Q&A)」→「AirStationとの接続で困ったとき」→「AirStation(親機)に無線接続ができない場合」を参照してください。

●AOSSで無線接続したい

⇒AOSSでAirStation(親機)と無線アダプタ(子機)を無線接続するには、以下の手順でおこないます。

1. 画面右下のタスクトレイにある アイコンを右クリックして、「プロファイルを表示する」を選択します。

右クリック　「プロファイルを表示する」を選択

2. 「AOSS」ボタンをクリックします。

3. 以後は、画面にしたがって接続を完了させてください。

●PCカード接続のCD-ROMドライブをお使いの場合(PCカードタイプの無線アダプタをお使いの場合)

⇒PCカードスロットが一つだけのパソコンでは、CD-ROMドライブと無線アダプタを同時に使用できません。「エアナビゲータCD」内のファイルをハードディスクにコピーしてからセットアップをおこなってください。

1.デスクトップ上に新しいフォルダを作ります。
2.エアナビゲータCD内のすべてのファイルを、そのフォルダにコピーします。
3.コピーが終わったら、コピー先の[AirNavi]アイコン( )をダブルクリックします。

●パソコン同士をネットワークで接続する場合

⇒各パソコンにネットワークの設定が必要です。Windowsのマニュアルやヘルプを参照して設定してください。
「AirStation設定ガイド※1」の中の「困ったときは(カテゴリ別Q&A)」→「パソコンとの通信で困ったとき」→「パソコンのフォルダの共有設定例」にも設定例が記載されていますので、参考にしてください。

※1　右記「補足情報」の「AirStation設定ガイドの読み方」を参照。

補足情報

●本製品を取り外す

⇒Windowsの動作中に無線アダプタ(子機)を取り外すときは、以下の手順にしたがってください。
※Windows Me/98で、USB対応無線アダプタを取り外すときは、以下の手順をおこなう必要はありません。そのままパソコンから取り外してください。

1.タスクトレイに表示されている取り外しアイコン( )をクリックし、[<お使いの無線アダプタ>を安全に取り外します]を選択します。
※取り外しアイコンは、Windowsによって異なります
(Windows Me/2000: 、Windows 98SE:)。
2.「安全に取り外すことができます」と表示されたら、無線アダプタ(子機)を取り外します。

●AirStation設定ガイドの読み方

⇒AirStation設定ガイドは、以下の手順でお読みください。

1.CD-ROM「エアナビゲータCD」をパソコンにセットします。
2.[マニュアルを読む]をクリックします。
3.「マニュアルをインストールしてから読みますか？」と表示されますので、インストールする場合は、[はい]をクリックします。
※インストールしたマニュアルは、[スタート]−[(すべての)プログラム]−[BUFFALO]−[エアステーションユーティリティ]−[AirStation設定ガイド]から、いつでも参照することができます。
4.「AirStation 設定ガイド」が表示されますので、ご覧になりたい項目をクリックしてください。

●製品仕様・ランプ仕様を確認する

⇒製品仕様・ランプ仕様は、「AirStation設定ガイド」に記載されています。

1.「AirStation設定ガイド」を表示します。
(上記「AirStation設定ガイドの読み方」を参照)
2.「マニュアルを読む」の中の「製品情報」−「AirStation(親機)／無線アダプタ(子機)」−「無線アダプタ(子機)の製品仕様」をクリックしてください。
※お使いの無線アダプタの製品名は、無線アダプタ本体に記載されています。

安全にお使いいただくために必ずお守りください

お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために守っていただきたい事項を記載しました。正しく使用するために、必ずお読みになり内容をよく理解された上で、お使いください。なお、本紙には弊社製品だけでなく、弊社製品を組み込んだパソコンシステム運用全般に関する注意事項も記載されています。
パソコンの故障／トラブルや、いかなるデータの消失・破損または、取り扱いを誤ったために生じた本製品の故障／トラブルは、弊社の保証対象には含まれません。あらかじめご了承ください。

■使用している表示と絵記号の意味

警告表示の意味

⚠警告	絶対に行ってはいけないことを記載しています。この表示の注意事項を守らないと、使用者が死亡または、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示の注意事項を守らないと、使用者がけがをしたり、物的損害の発生が考えられる内容を示しています。

絵記号の意味

△	△は、警告・注意を促す記号です。△の近くに具体的な警告内容(例:⚠感電注意)が描かれています。
	○に斜線は、してはいけない事項(禁止事項)を示す記号です。○の中や近くに、具体的な禁止事項が描かれています。(例: 分解禁止)
	●は、しなければならない行為を示す記号です。●の近くに、具体的な指示内容(例: プラグをコンセントから抜く)が描かれています。

⚠ 警告

分解禁止

本製品の分解や改造や修理を自分でしないでください。
火災・感電・故障の恐れがあります。

電源プラグを抜く

本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。与えてしまった場合は、すぐに電源スイッチをOFFにして、電源プラグを抜いてください。
そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社サポートセンターまたはお買い求めの販売店にご相談ください。

強制

本製品を取り付け、使用する際は、必ずパソコンメーカーおよび周辺機器メーカーが提示する警告・注意に従ってください。

電源プラグを抜く

煙が出たり変な臭いや音がしたら、パソコンおよび周辺機器の電源スイッチをOFFにし、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。
そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社サポートセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

⚠ 注意

強制

電源ケーブルがACコンセントに接続されているときには、濡れた手で本製品に触らないでください。
感電の原因となります。

強制

静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に、身近な金属(ドアノブやアルミサッシなど)に手を触れて、身体の静電気を取り除くようにしてください。
人体などからの静電気は、本製品を破損、またはデータを消失・破損させる恐れがあります。

強制

落雷のおそれがあるときは、ただちに本製品の使用を中止し、本製品およびパソコンに接続しているケーブル類をすべて取り外してください。
落雷で電流が流れ込むと本製品が破損する恐れがあります。

強制

ハードディスク内のデータは、必ず他のメディア(フロッピーディスクやMOディスクなど)にバックアップしてください。
とくに、修復・再現できない重要なデータは、オリジナルの更新前・更新後と、常に二重のバックアップを作成されることをおすすめします。以下のような場合、データが消失・破損する恐れがあります。

- 誤った使い方をしたとき
- パソコンの電源をOFFにした後、すぐに電源をONにしたとき
- 故障、修理などのとき
- 静電気や電気的ノイズの影響を受けたとき
- 長時間使っていなかったために電池が自然放電したとき
- 天災による被害を受けたとき

上記の場合に限らず、バックアップの作成を怠ったために、データが消失・破損した場合、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

強制

本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。
条例の内容については、地方自治体にお問い合わせください。

無線LAN製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意

無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。
その反面、電波はある範囲内であれば障害物(壁等)を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、通信内容を盗み見られる/不正に侵入されるなどの可能性があります。
BUFFALOの無線LANセキュリティに対する取り組みについては、「AirStation設定ガイド」の「無線LAN製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意」をご覧ください。